

公益財団法人 緒方記念科学振興財団

令和6年度 事業計画

ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今、日本の教育は転機を迎えています。刻々と変化するグローバル経済の流れの中で世界の様々な才能と堂々と競い合える人材を育てていく必要があります。

2022年10～11月の国公立及び私立大学の学部学生を対象とした学生生活実態調査によると、自宅生の収入合計は、64,350円/月で前年より720円増えたものの19年との比較では3,130円減少。一方下宿生の収入合計は、124,290円/月で前年より990円減少し、19年との比較では5,570円減少しています。この様に、収入合計では自宅生が前年を上回り回復傾向にあるものの、19年比では自宅・下宿生共にコロナ禍前の生活水準まで戻っていない現状です。特に下宿生の「仕送り」による収入減少がその要因とされていますが、自宅・下宿生共に「アルバイト」による収入は増加回復傾向にあります。また、収入の約16%を占める「奨学金」を受給している学生は30.8%を占め、そのうちの約10%が「給付型」の受給者で、残り90%の「貸与型」受給者の71.6%の学生が返還に不安を感じている結果となっています。

当財団では今後も、経済的理由で就学が困難な学生諸子に対して給付型奨学金の支給により人材の育成に寄与し、また科学振興、医学技術研究等への助成を通じて研究者諸先生間の人間交流に寄与することを目的とし、今後の公益に資する事業を通してよりよい社会の形成に役立ちたいと考えております。

引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度事業計画（案）は下記の通りであります。

収入の部

社債配当金	令和6年度	30,000,000 円
基本財産（定期預金・国債利息）	〃	1,110,000 円
その他収入	〃	36,000 円
	合計	31,146,000 円

支出の部

令和6年度 奨学金支給額（P-2参照）

高校生	10名	1,200,000 円	累計 22名	2,640,000 円
専門高等学生	3名	360,000 円	累計 9名	1,200,000 円
大学生	10名	2,400,000 円	累計 21名	5,040,000 円
留学生	1名	600,000 円	累計 1名	600,000 円
			54名 小計	9,480,000 円

令和6年度 助成事業助成金（P-2参照）

大学研究室	6研究室	×	500,000 円	3,000,000 円
民間研究機関	2研究機関	×	500,000 円	1,000,000 円
その他の付帯事業				2,600,000 円
			小計	6,600,000 円

経常費用（事業目的のための直接費用）（P-3参照）

7,832,000 円

小計 7,832,000 円

合計 23,912,000 円

各位におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。